

平成29年度 当初予算（案）

# 主な事業の説明書

上下水道部

款	項	目	大	事業	ページ
[一般会計]					
4	1	7	61	浄化槽設置整備事業費補助金	8 - 1
[公共下水道事業特別会計]					
1	1	1	10	下水道維持管理費	8 - 2
1	1	1	10	下水道維持管理費（地方公営企業法適用移行業務）	8 - 3
<特環・農集会計分含む>					
2	1	1	10・11	公共下水道事業費（補助分・単独分）	8 - 4
2	1	1	12	流域下水道事業費<特環会計分含む>	8 - 5
[特定環境保全公共下水道事業特別会計]					
1	1	1	10	下水道維持管理費	8 - 6
2	1	1	10・11	特定環境保全公共下水道事業費（補助分・単独分）	8 - 7
[特定地域生活排水処理事業特別会計]					
1	1	1	10	浄化槽維持管理費	8 - 8
[農業集落排水事業特別会計]					
1	1	1	10	農業集落排水維持管理費	8 - 9
2	1	1	11	（新規）農業集落排水事業費（単独分）	8 - 10

※部毎に款・項・目・大事业の順番とする。

# 事 業 説 明 書

(一般会計) 4 款 1 項 7 目 61 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 浄化槽の整備促進

継続

課所名：上下水道部 下水道課

『事業名』 **浄化槽設置整備事業費補助金**

【29年度】 **87,390** 千円 【28年度】 **87,390** 千円 【増減額】 **0** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
<b>21,815</b>	<b>21,815</b>			<b>43,760</b>

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外において、公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図り、併せて公共水域の水質保全に資するため、補助金を交付することにより、短期に著実な整備を図ることができる合併処理浄化槽の整備を促進することを目的とする。

平成29年度末目標

- ①普及率 17.2% (普及率 = 処理区域内人口 14,584人 / 住民基本台帳人口 84,903人)
- ②進捗率 53.3% (進捗率 = 処理区域内人口 14,584人 / 計画処理区域内人口 27,378人)

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

下水道等の集合処理型の施設整備には、多額の経費と整備着手まで相当の時間がかかるため、現在認可区域外において市民が要望するトイレの水洗化を支援することにより、短期的に市全体の水洗化率の向上が図られている。

単位(基、%)

	設置基数	普及率
平成25年度	166	16.1
平成26年度	126	16.4
平成27年度	149	16.7

3. C h e c k (評価：問題と課題)

市全体の生活排水処理の普及率向上のためには、合併処理浄化槽による水洗化を進める必要があり、今後とも合併処理浄化槽の設置促進に努める。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

浄化槽設置補助事業を継続的に推進し、公共用水域の保全並びに水洗化の向上を図る。

(単位：千円、基)

人槽区分	基準額 ①	基準額内訳			市 嵩上分 ②	補助額 (嵩上後) ①+②=③	設置 基数 ④	予算額 ③×④	予算額内訳	
		国	県	市					基準額 ①×④	市嵩上分 ②×④
5人槽	352	117	117	118	118	470	65	30,550	22,880	7,670
7人槽	441	147	147	147	147	588	90	52,920	39,690	13,230
10人槽	588	196	196	196	196	784	5	3,920	2,940	980
合計	1,381	460	460	461	461	1,842	160	87,390	65,510	21,880

\* 国・県・市は基準額の3分の1を補助する。市内業者が施工した場合は、市補助分と同額を嵩上げし補助する。

# 事 業 説 明 書

(公共下水道事業特別会計) 1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

継続

課所名：上下水道部 下水道課

『事業名』 **下水道維持管理費**

【29年度】 **315,387** 千円 【28年度】 **324,210** 千円 【増減額】 **△ 8,823** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>6,900</b>	<b>308,487</b>	

下水道使用料等

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

管渠、処理場等について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、施設機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。

また、限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。

対象区域：大曲・神岡・西仙北

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。次年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。

下水道課            293,191 千円

神岡支所            4,801 千円

西仙北支所        17,395 千円

主な支出	流域下水道維持管理負担金（大曲、神岡）	215,600 千円
	炭化施設維持管理負担金（大曲、神岡）	45,851 千円
	水質検査手数料（大曲、神岡）	2,265 千円
	ポンプ・処理施設維持管理委託料（西仙北）	6,571 千円
	処理場修繕料（西仙北）	944 千円
	下水道事業法適用移行業務委託（公共分）	6,985 千円
	（下水道事業における地方公営企業法適用による企業会計方式の導入）	

# 事業説明書

(公共下水道事業特別会計)	1 款	1 項	1 目	10 事業
(特定環境保全公共下水道事業特別会計)	1 款	1 項	1 目	10 事業
(農業集落排水事業特別会計)	1 款	1 項	1 目	10 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

継続

課所名： 上下水道部 下水道課

## 『事業名』 下水道維持管理費（地方公営企業法適用移行業務）

【29年度】 **17,322** 千円 【28年度】 **41,100** 千円 【増減額】 **△ 23,778** 千円

(うち公共分)	6,985 千円	16,440 千円	△ 9,455 千円
(うち特環分)	3,446 千円	8,220 千円	△ 4,774 千円
(うち農集分)	6,891 千円	16,440 千円	△ 9,549 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>17,100</b>		<b>222</b>
(公共分)		6,900		85
(特環分)		3,400		46
(農集分)		6,800		91

### 1. Plan（計画：事業の目的及び目標）

下水道事業において、地方公営企業法の適用（以下「法適用」という。）による企業会計方式を導入し、経営の健全化、財務状況の明確化及び下水道施設の効率的な維持管理を図る。

### 2. Do（実行：これまでの実績と成果）

下水道事業の法適用移行作業を進め、企業会計方式による財務諸表の作成など経営状況や財政状況の明確化を図り、将来にわたって安定的な事業運営を目指す。

### 3. Check（評価：問題と課題）

法適用移行事務を確実に実施するための移行体制を構築するとともに、将来的な上下水道部の組織体制について検討する。企業会計導入後の不具合が生じないよう移行事務について点検しながら進める。

### 4. Act（改善：今後の方向性と29年度事業の概要）

下水道事業の法適用移行作業を進め、企業会計方式による財務諸表の作成など経営状況や財政状況の明確化を図り、将来にわたって安定的な事業運営を目指す。

#### ①企業会計移行対象事業（4事業）

公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、特定地域生活排水処理事業、農業集落排水事業

#### ②企業会計への移行時期

平成30年4月1日（予定）

#### ③企業会計移行スケジュール

準備期間 3年間 平成27年度～平成29年度

#### ④主な法適用移行業務の内容

##### i 固定資産の調査と評価（資産台帳の整備）【委託】

ア、工事関連書類、決算書など必要書類の収集と整理。

イ、固定資産の調査と評価による帳簿原価の算出。

##### ii 法適化に伴う事務手続き【職員対応】

ア、組織・執行体制の検討、関係部局との調整事項の整理。

イ、企業会計に関する意識と知識、準備作業に関する職員研修の実施。

ウ、条例・規則等の改正作業、出納・収納取扱金融機関の指定。

エ、企業会計方式の新予算の編成と打ち切り決算の実施、事業の廃止と開始の届け出。

##### iii システム構築【委託】

ア、企業会計システム（資産管理システムを含む）※上水道事業会計システムを活用

#### ⑤平成27～29年度の委託業務

- ・ 資産調査評価業務（法適化に伴う事務手続き支援業務を含む）

#### ⑥平成28～29年度の委託業務

- ・ 企業会計システム構築

# 事 業 説 明 書

(公共下水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 10.11事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

継続

課所名：上下水道部 下水道課

## 『事業名』 公共下水道事業費（補助分・単独分）

【29年度】 **419,428** 千円 【28年度】 **342,317** 千円 【増減額】 **77,111** 千円

(うち補助分)	298,719 千円	254,100 千円	44,619 千円
(うち単独分)	120,709 千円	88,217 千円	32,492 千円

### ※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
<b>150,274</b>		<b>232,100</b>	<b>16,803</b>	<b>20,251</b>
(補助分) 150,274		125,400	12,233	10,812
(単独分)		106,700	4,570	9,439

1款1項1目：下水道受益者負担金

### 1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、下水道整備を継続的に進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

平成29年度末目標 公共下水道（公共下水道・特定環境保全公共下水道）

- ①普及率 41.1% （普及率 = 処理区域内人口 34,859人 / 住民基本台帳人口 84,903人）
- ②進捗率 92.7% （進捗率 = 処理区域内人口 34,859人 / 計画処理区域内人口 37,597人）

### 2. D o (実行：これまでの実績と成果)

下水道整備計画に基づき処理区域は拡大してきており、事業目的の達成のための着実な進捗が図られている。大曲及び神岡地域とも、単年度の計画事業は概ね予定どおり順調に実施されている。28年度末普及率は40.5%となる見込みで、地域の下水道整備率の向上が図られている。

### 3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも未整備地域の解消を図るとともに、財政状況や事業を取り巻く情勢から、中長期的な見通しと課題を整理し、持続可能な事業運営が必要である。また、あわせて施設の老朽化に対応し健全性を確保するため「長寿命化対策」に取り組み、限られた財源の中で、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的な改築更新を行う必要がある。

### 4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図るため、下水道を整備し公共水域の水質保全を図る。また、処理施設の老朽化に対応するため、計画的な改築更新を行っていく。

(単位：千円)

区 分	事 業 費		事 業 概 要
	(補助分)	(単独分)	
大曲地域	322,108		管路工事 L=2,381.25m (福田町・大花町・富士見町・飯田字家ノ前地内) 公共ます設置工事 管路実施設計 効率的整備計画策定業務委託 生活排水処理整備事業協議資料作成
	221,400		
	100,708		
神岡地域	70,000		管路工事 L=573.50m (大坪・宮田地区)
	56,000		
	14,000		
西仙北地域	27,320		刈和野浄化センター長寿命化対策工事 機械・電気設備更新工事 (空調・換気設備、計測設備) 効率的整備計画策定業務委託 工事監理業務委託
	21,319		
	6,001		
合 計	419,428		
	298,719		
	120,709		

# 事 業 説 明 書

(公共下水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 12 事業  
 (特定環境保全公共下水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 12 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

継続

課所名： 上下水道部 下水道課

## 『事業名』 流域下水道事業費

【29年度】	11,935 千円	【28年度】	17,421 千円	【増減額】	△ 5,486 千円
(うち公共分)	9,435 千円		13,821 千円		△ 4,386 千円
(うち特環分)	2,500 千円		3,600 千円		△ 1,100 千円

### ※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>11,900</b>		<b>35</b>
(公共分)		9,400		35
(特環分)		2,500		

#### 1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

広域的な汚水処理のため県が実施している流域下水道事業における幹線管渠及び処理場等の整備に参画し、市の下水道事業と一体化して快適な生活の向上を図る。

平成29年度末目標 公共下水道 (公共下水道・特定環境保全公共下水道)

- ①普及率 41.1% (普及率 = 処理区域内人口 34,859人 / 住民基本台帳人口 84,903人)
- ②進捗率 92.7% (進捗率 = 処理区域内人口 34,859人 / 計画処理区域内人口 37,597人)

#### 2. D o (実行：これまでの実績と成果)

市の下水道事業と県の流域下水道事業を一体的に推進することにより、公衆衛生及び快適な生活環境の向上と河川などの公共用水域の水質保全が図られている。

#### 3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも、県と市双方が、適切な予算措置のもとで効率的な事業実施に努める。

#### 4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

- 県が実施している事業への建設費負担により、公共下水道整備の推進を図る。

秋田湾・雄物川流域下水道大曲処理区の建設費負担金 (県と市町村が各1/2負担)

平成29年度 予定事業内容

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 《管渠・ポンプ場》             | 《大曲処理センター》 |
| ・大曲幹線他 ストックマネジメント調査計画 | ・効率的整備計画策定 |

建設費負担金 (単位：千円)

会計名	地域名	金額	合計
公共	大曲地域	8,335	9,435
	神岡地域	1,100	
特環	中仙地域	1,600	2,500
	仙北地域	900	
合 計			11,935

# 事 業 説 明 書

(特定環境保全公共下水道事業特別会計) 1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

継続

課所名： 上下水道部 下水道課

## 『事業名』 下水道維持管理費

【29年度】 162,061 千円 【28年度】 165,050 千円 【増減額】 △ 2,989 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		3,400	124,102	34,559

下水道使用料等

### 1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

管渠、処理場等について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、施設機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。

また、限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。

対象区域：西仙北・中仙・協和・南外・仙北

### 2. D o (実行：これまでの実績と成果)

適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。

### 3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

### 4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。次年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。

下水道課	105,194 千円
西仙北支所	5,977 千円
中仙支所	7,914 千円
協和支所	29,114 千円
南外支所	10,473 千円
仙北支所	3,389 千円

流域下水道維持管理負担金 (中仙、仙北)	70,400 千円
炭化施設維持管理負担金 (中仙、仙北)	15,284 千円
処理場保守管理委託料 (西仙北・協和・南外)	17,558 千円
処理場・中継ポンプ等修繕料 (全域)	9,376 千円
下水道事業法適用移行業務委託 (特環分)	3,446 千円

(下水道事業における地方公営企業法適用による企業会計方式の導入)

# 事 業 説 明 書

(特定環境保全公共下水道事業特別会計) 2 款 1 項 1 目 10.11事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 公共下水道事業の推進

**継続**

課所名：上下水道部 下水道課

## 『事業名』 特定環境保全公共下水道事業費 (補助分・単独分)

【29年度】 **128,717** 千円 【28年度】 **110,907** 千円 【増減額】 **17,810** 千円

(うち補助分)	104,307 千円	91,600 千円	12,707 千円
(うち単独分)	24,410 千円	19,307 千円	5,103 千円

### ※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
<b>54,253</b>		<b>64,900</b>	<b>1,248</b>	<b>8,316</b>
(補助分) 54,253		43,200	1,248	5,606
(単独分)		21,700		2,710

1款1項1目：下水道受益者負担金

### 1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、下水道整備を継続的に進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

平成29年度末目標 公共下水道 (公共下水道・特定環境保全公共下水道)

①普及率 41.1% (普及率 = 処理区域内人口 34,859人 / 住民基本台帳人口 84,903人)

②進捗率 92.7% (進捗率 = 処理区域内人口 34,859人 / 計画処理区域内人口 37,597人)

### 2. D o (実行：これまでの実績と成果)

下水道整備計画に基づき処理区域は拡大してきており、事業目的の達成のための着実な進捗が図られている。南外地域は単年度の計画事業は予定どおり実施され、28年度末普及率は40.5%となる見込みで、地域の下水道整備率の向上が図られている。

### 3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも未整備地域の解消を図るとともに、財政状況や事業を取り巻く情勢から、中長期的な見通しと課題を整理し、持続可能な事業運営が必要である。また、あわせて施設の老朽化に対応し健全性を確保するため「長寿命化対策」に取り組み、限られた財源の中で、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的な改築更新を行う必要がある。

### 4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図るため、下水道を整備し公共水域の水質保全を図る。また、処理施設の老朽化に対応するため、計画的な改築更新を行っていく。

(単位：千円)

区 分	事 業 費		事 業 概 要
	(補助分)	(単独分)	
西仙北地域	8,806		強首浄化センター長寿命化対策実施設計業務委託
	8,306		
	500		
協和地域	49,945		協和中央浄化センター長寿命化対策 機械・電気・建築設備更新工事 (汚泥貯留設備、計測設備、電気設備、消火災害防止設備) 工事監理業務委託
	42,000		
	7,945		
南外地域	69,966		管路工事 L=671.15m (小出・梨木田・下袋地内) 効率的整備計画策定業務委託
	54,001		
	15,965		
合 計	128,717		
	104,307		
	24,410		

# 事 業 説 明 書

(特定地域生活排水処理事業特別会計)

1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 浄化槽の整備促進

継続

課所名： 上下水道部 下水道課

『事業名』 **浄化槽維持管理費**

【29年度】 **16,508** 千円 【28年度】 **16,351** 千円 【増減額】 **157** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			<b>16,266</b>	<b>242</b>

浄化槽使用料等

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市町村設置の浄化槽について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、浄化槽機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。

また、限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。

対象区域：西仙北・協和

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。次年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。

下水道課	560 千円	
西仙北支所	10,568 千円	
協和支所	5,380 千円	

主な支出	浄化槽保守点検業務委託料	3,344 千円
	浄化槽清掃汲取業務委託料	9,625 千円
	浄化槽法定検査手数料	1,944 千円

# 事 業 説 明 書

(農業集落排水事業特別会計)

1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 農業集落排水事業の推進

継続

課所名： 上下水道部 下水道課

『事業名』 **農業集落排水維持管理費**

【29年度】 **208,765** 千円 【28年度】 **212,249** 千円 【増減額】 **△ 3,484** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>6,800</b>	<b>179,680</b>	<b>22,285</b>

農業集落排水使用料等

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

管渠、処理場等について、定期的な保守点検等の維持管理の実施により、施設機能を保全し、安定的で継続的な事業運営を図る。

また、限られた予算の中でコスト削減に努め、支障なく施設を稼働するための維持管理を行う。

対象区域：大曲・神岡・西仙北・中仙・協和・仙北・太田

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

適正な維持管理により、地域の公衆衛生の向上と生活環境の改善が図られている。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも、コスト削減及び施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

大きな事故もなく、支障のない施設稼働が確保された。次年度以降も突発的な大修繕に至らぬ様、適切な日常点検に努めることが求められる。

(単位：千円)

地域名	全市	大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	仙北	太田
地区名 (地区数)	全市 (29)	中田宮林 大曲西部 角間川 (3)	神岡東部 神岡西部 (2)	上野 川里 (2)	中荒井 大神成 田ノ尻 (3)	稲沢 白岩 川口 一ノ渡 小種 水沢 宇津野 下淀川 沢庄 峰吉川 (10)	薬師 福田 仙北北部 (4)	横沢 大町 小神成 太田今泉 三本扇 (5)
農業集落排水 維持管理費	208,765	64,905	11,439	23,197	15,324	33,554	29,191	31,155

【主な項目】

- 需用費 (電気料 63,098千円、修繕料 17,266千円)
- 役務費 (電話料 5,169千円、汚泥処理手数料等 29,497千円)
- 委託料 (施設維持管理業務委託料等 53,164千円)
- 使用料及び賃貸料 (施設関連土地借り上げ料等 547千円)
- 下水道事業法適用移行業務委託 (農集分) 6,891 千円  
(下水道事業における地方公営企業法適用による企業会計方式の導入)

# 事 業 説 明 書

(農業集落排水事業特別会計)

2 款 1 項 1 目 11 事業

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 生活排水処理対策の推進

(基本事業) 農業集落排水事業の推進

新規

課所名： 上下水道部 下水道課

『事業名』 **農業集落排水事業費 (単独分)**

【29年度】 **30,346** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **30,346** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>23,700</b>		<b>6,646</b>

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市民の公衆衛生及び生活環境の向上と公共水域の水質の保全に資するため、農村地域の下水道整備を進め、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。

対象区域：仙北

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

農村地域の下水道の整備に伴い、公衆衛生及び快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全が図られている。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

今後とも、施設の機能保全に努め、健全な事業運営の継続を図らなければならない。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

仙北地域福田地区農業集落排水区域内の管路で軟弱地盤による経年の沈下のためタルミが発生し、管路内及びマンホールに汚水が滞水していることにより、管路布設替え工事を実施する。

(単位：千円)

事業概要	予算額
管路布設替え工事測量設計業務委託料	5,346
管路布設替え工事	25,000
合 計	30,346

